

他階層合同研修 ～組織力向上～

対象者：一般職員～管理・監督者

1. 研修の目的

より高度化・多様化する課題に対応すべく、「強いチーム」を作るための意識と行動を学ぶ。

- ① フォロワー対象：チームの成果にコミットし、主体的な貢献をするべく、フォロワーシップの心構えと行動を学ぶ。
- ② リーダー対象：チーム力を高めるべく、今の時代に求められるリーダーシップのポイントを学ぶ。
- ③ 合同：強いチームのあり方、及びチーム力を高めるためのコミュニケーション（会話・対話・議論）を学ぶ。

2. 研修の概要

※ 日数はご相談に応じます。

例：一般職員（3時間）＋管理・監督者（3時間）＋合同（1日間）

【研修の流れ】

【一般職員対象（1日間）】 ①フォロワーとしての心構えと行動	【管理・監督者（1日間）】 ②リーダーとしての心構えと行動
組織の成果に対する、フォロワーの影響力は80～90%。主体的な行動を身に付ける。	リーダーの役割は、組織の成果を高めるべく、フォロワー（メンバー）の力を引き出すこと。
① チーム活動に主体的に貢献する。 （フォロワーシップ） ② 主体性を磨き、粘り強く取り組む。 ③ 周囲を主体的に巻き込む。 ④ 次回（合同）に向けた目標を設定する。	① チームビルディングのプロセスを理解する ② 様々なリーダー像、今求められるリーダー像を理解する。 ③ メンバーの主体的行動を引き出す。 ④ 次回（合同）に向けた目標を設定する。

連続、もしくは少し間をあけて

事前課題（ライフラインチャート）記載
合同研修参加時に持参

【合同研修】

③組織力向上に向けたコミュニケーションの実践

- ・ ゲーム&グループ討議等を通じて、リーダーシップやフォロワーシップを発揮する。
 - ・ チームのあり方を理解し、チーム力を高めるためのコミュニケーション力（会話・対話・議論）を磨く。
- ① 各人の「ライフラインチャート」をもとに、会話する。
 - ② 「どんなチームにしたいか」をテーマに対話する。
 - ③ 「より良いチーム作りに向けて、どんな行動をしていくか」をテーマに議論する。

【研修の特徴】

- ・ 個人ワークの時間を適宜取ります。（自分の頭で考える力を磨く）
- ・ 参加者同士の会話の時間を適宜取ります。（情報交換・相互アドバイスによる相互成長を目指す）

3-1. 研修内容【一般職員対象（1日間）】

	内容	詳細、得たい成果
9:00	1. オリエンテーション 【講義】 1) 研修の目的と全体像 2) VUCA 時代に求められる「組織力（チーム力）」 2. 「チーム力向上」に向けてもとめられる行動 【講義】 1) 良いチームとは 2) チーム力の向上に求められる行動 a) 自身のパフォーマンスを高める行動 b) チームのパフォーマンスを高める行動 3. フォロワーシップを理解する 【講義・個人ワーク・グループワーク】 1) フォロワーシップとは 2) フォロワーシップの5つのスタイル 3) フォロワーシップの具体的な行動とは 4) 【ワーク】良いチームにするためにできること	1. 研修の目的及び背景の共有により、研修への前向きな姿勢を醸成します。 2. まずは、より良いチームとは何かを理解します。 さらにチームメンバーに求められる行動を学び、チーム意識を高めます。 3. フォロワーシップを発揮するための意識と行動を学びます。 フォロワーシップは、チームの成果に大きな影響を及ぼします。 5つのフォロワーシップスタイルを学び、自身の現状をつかみ、明日からの行動に繋げていただきます。
12:00		
13:00	4. 主体性を磨き、粘り強く取り組む姿勢を作る 【講義・個人ワーク・グループワーク】 1) ジョブクラフティングでイキイキを作る 2) 仕事をマネジメントする 3) 主体性を発揮する 4) 前向き思考を身に付ける 5) 【ワーク】自身の捉え方を振り返る 6) 【ワーク】強みを理解する 5. 周囲を主体的に巻き込む 【講義・個人ワーク・グループワーク】 1) 信頼を生み出すコミュニケーション 2) ボスマネジメント 3) コミュニケーション力（説明） 4) 【ワーク】人間関係MAPと行動計画 6. 次回までの行動目標の設定 【講義・個人ワーク】 1) 【ワーク】次回までの行動目標を設定する 2) 【ワーク】本日の気づきの整理 3) 次回に向けた課題	4. 自身のパフォーマンスを高めるためのポイントを学びます。 フォロワーシップを発揮する上で、主体性は欠かせません。主体性を発揮するためのポイントを学ぶとともに、自身の強みを活かしていけるよう、ワークを通じて、強み探索をしていただきます。 5. チームと主体的に関わるためのポイントを学びます。 コミュニケーション力を磨くとともに、主体性をもって周囲を活用したり、サポートしたりするための意識とスキルを学びます。 自身の人間関係を可視化し、巻き込む意識を高めます。 6. 明日からの行動実践に向けて、行動目標の設定と気づきの整理を行います。 ※ 次回（合同研修）に向けての課題（予定） ・行動目標に対する結果の把握。 ・ライフラインチャートの作成。
16:30		

3-2. 研修内容【管理・監督者対象（1日間）】

	内容	詳細、得たい成果
9:00	1. オリエンテーション 【講義】 1) 研修の目的と全体像 2) VUCA 時代に求められる「組織力（チーム力）」 2. 「チーム力の理解」と「チームビルディングのプロセス」 【講義・個人ワーク・グループワーク】 1) より良いチームとは 2) チームビルディングにおける5つのプロセス 3. これからのリーダーシップを理解する 【講義・個人ワーク・グループワーク】 1) 【ワーク】リーダーシップ経験の振り返り 2) 様々なリーダーシップ論を知る 3) これからの理想のリーダー像とは	1. 研修の目的及び背景の共有により、研修への前向きな姿勢を醸成します。 2. より良いチームの理解と、より良いチームを作るステップを学びます。 （タックマンモデル） 3. リーダーシップの、より一層の発揮に向けて、様々なリーダーシップの形を学ぶとともに、現代に求められるリーダー像を考えます。
12:00		
13:00	4. チームのパフォーマンスを向上させる 【講義・個人ワーク・グループワーク】 1) チームのパフォーマンスとは 2) チームの目標を設定して共有する 3) チャレンジをするチームを作る 4) メンバーが主体性を発揮しやすい職場を作る 5) 【ワーク】心理的安全性を高めるためにできること 6) メンバーのモチベーションを高める 7) 褒め方・叱り方 8) コミュニケーション力をより一層磨く 5. 次回までの行動目標の設定 【講義・個人ワーク】 1) 【ワーク】次回までの行動目標を設定する 2) 【ワーク】本日の気づきの整理 3) 次回に向けた課題	4. 現代に求められるリーダー像は、メンバーの多様性を活かすリーダーです。 いかにしてメンバーの力を引き出し、活かすかを考えます。 キーワードは、「チームの目標の共有と「心理的安全性」です。 5. 明日からの行動実践に向けて、行動目標の設定と気づきの整理を行います。 ※ 次回（合同研修）に向けての課題（予定） ・行動目標に対する結果の把握。 ・ライフラインチャートの作成。
16:30		

3-3. 研修内容【一般職員、管理・監督者合同（1日間）】

	内容	詳細、得たい成果
9:00	1. オリエンテーション 【講義】 1) 研修の目的と全体像 2) 自己紹介 ⇒“前回の研修での学び・気づきの共有“を含む 3) チームビルディングとは 2. 相互理解の促進(会話) 【講義・個人ワーク・グループワーク】 1) ライフラインチャート 2) 振り返り	1. 研修の目的及び背景の共有により、研修への前向きな姿勢を醸成します。 ● 自己紹介（目標に対する結果発表含む）を通じて、まずはコミュニケーションを取ってもらいます。また、チームビルディングの成果を左右する「話し合いのモード」について学びます。 2. 「ライフラインチャート」のワークを通じて、より一層の相互理解を図ります。
12:00		
13:00	3. どんなチームにしたいか(対話) 【講義・個人ワーク・グループワーク】 1) 【ワーク】チームビルディング診断シート 2) 【ワーク】どんなチームにしたいか 3) 【ワーク】他グループとの共有 4) ファシリテーション力を磨く 4. 【ゲーム】砂漠遭難テスト(議論) 【講義・個人ワーク・グループワーク】 1) 【ゲーム】砂漠の脱出 2) 振り返り 5. より良いチーム作りに向けて何をするか(議論) 【講義・個人ワーク・グループワーク】 1) 議論のポイント(ファシリテート) 2) 【ワーク】より良いチーム作りに向けて何をするか 3) 【ワーク】他グループとの共有 4) 【個人ワーク】自分への落とし込み 6. まとめ 【講義・個人ワーク】 1) まとめ「3回を通じて」 2) 【ワーク】本日の気づきの整理	3. 心理的安全性のもと、どんなチームにしていきたいか、しっかりと対話をしていただきます。 また、後半に向けて、ファシリテーションを学びます。 ※模造紙使用予定 4. コンセンサスゲーム「砂漠遭難テスト」を通じて、意見交換をしていただきます。 しっかりと意見を言えるようになっているとベストです。 5. 最後は、より良いチームに向けて、「どのような行動をするか」をしっかりと議論していただきます。 ※模造紙使用予定 6. 明日からの行動実践に向けて、気づきの整理を行います。
16:30		